

平成29年度 公共事業再評価調書

(区分) (国補)・県単

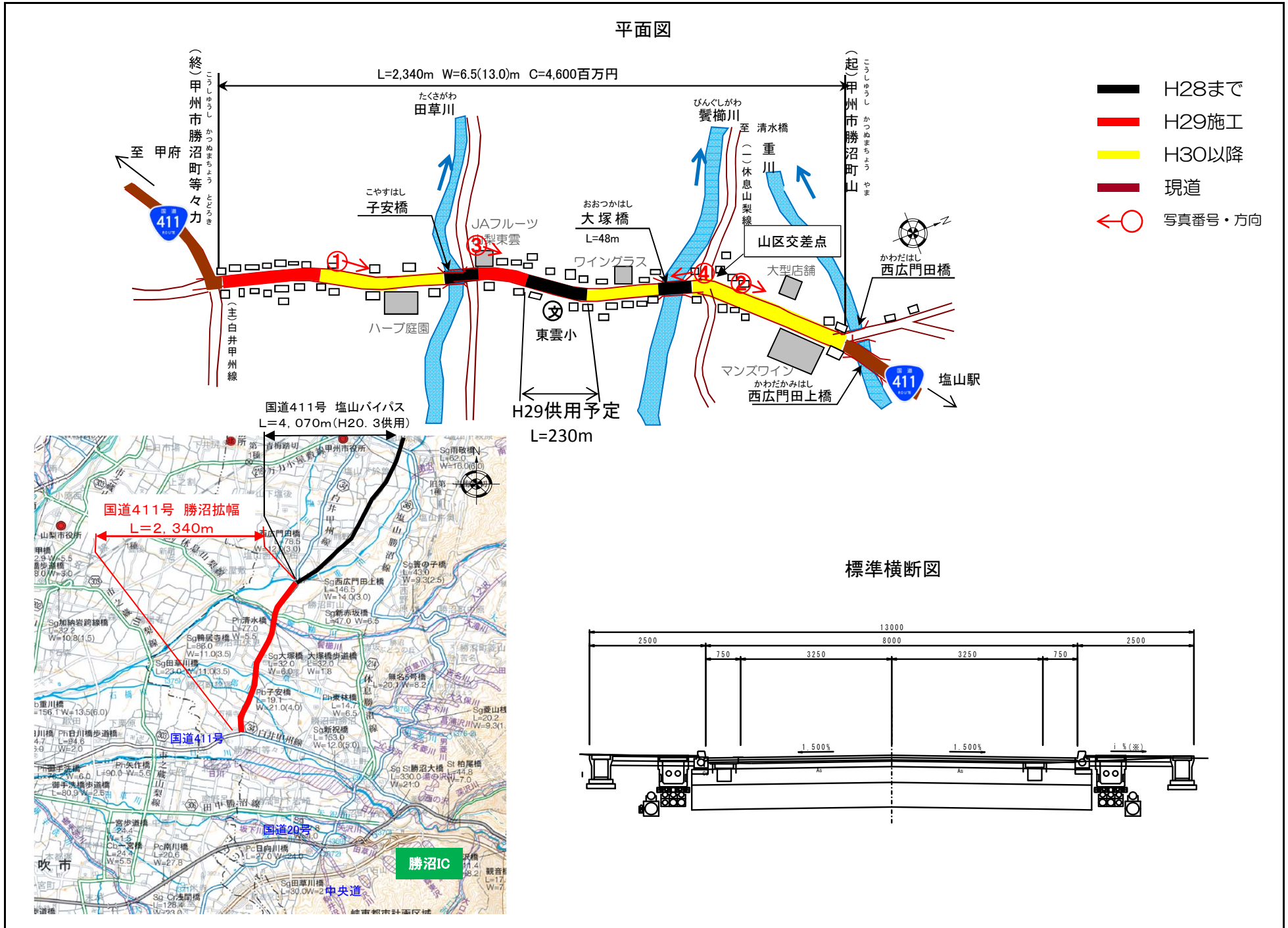
1. 再評価調書

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	甲州市勝沼町山～等々力	地区名	国道411号 (勝沼拡幅)	事業主体	山梨県									
	当初計画	現計画	今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況 (道路改良：平成19年度事前評価) この事業は、国道411号のうち、既に整備の完了した塩山バイパスと、県道白井甲州線との交差点までの幅員が狭小な区間において、道路拡幅、交差点改良とあわせて歩道を整備するもので、沿線にある小学校の通学児童の安全確保とともに、朝夕の交通渋滞の緩和のために必要な事業であり、実施が妥当である。 (電線共同溝：平成21年度事前評価) 公共事業等評価会議において実施が妥当とされた。												
計画期間	H20～H27	H20～H29	H20～H37														
総事業費	3,350百万円	4,250百万円	4,600百万円														
(1) 事業の概要																	
①事業目的及び効果 一般国道411号は、東京都八王子市を起点とし甲州市勝沼町を経て甲府市に至る延長118kmの幹線道路である。 このうち、勝沼町山～等々力地内は幅員狭小・歩道未設置のため、朝夕の通勤時間帯は混雑し、また大型車の通行も多いことから、自転車歩行者の通行に支障をきたしている。また、この区間の沿線には観光施設が多く、甲州市の主要観光ルートであることから良好な景観が望まれている。 このことから、通行車両や歩行者の安全性・利便性の向上や景観形成に資する道路改良を整備するものである。																	
②事業概要 計画延長：L=2,340m 道路幅員：車道6.5m (2車線)、歩道2.5m (両側) および電線共同溝整備 (両側 延べ延長4,680m)																	
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度まで</th> <th>平成29年度 (評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事</td> <td>道路改良工事 電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,800百万円</td> <td>450百万円</td> </tr> </tbody> </table>										平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事	道路改良工事 電線共同溝工事	事業費	3,800百万円	450百万円
	平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)															
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事	道路改良工事 電線共同溝工事															
事業費	3,800百万円	450百万円															
④特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 塩山バイパス (L=4,070m) 平成20年3月に供用済み。 東雲小学校前の一部区間 (L=230m) 平成29年9月に完成供用予定。 																	
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																	
①地域・住民の意向状況 地元より早期の整備を要望されている。また、甲州市は本事業区間について平成29年度中に景観法に基づく景観重要公共施設への指定を予定している。																	
②産業・経済情勢 平成25年度には本区間内で集客力の高い大型店舗が営業を開始し、買い物のための交通が増加している。																	
③国等の方針変更 なし																	
④上位計画・関連事業計画等の変更 「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月) 「甲州市景観計画」(平成25年4月施行)																	
⑤自然環境条件等の変化 なし																	
⑥その他 なし																	
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]																	
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C (19年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 2.68 > 1.0 再評価時計画における事業全体B/C (29年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.4 > 1.0 (山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上) 																	

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p>	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 未買収地における用地交渉に時間を要することが考えられる。</p>																																							
<p>①これまでの計画変更等の概要 県道休息山梨線において、清水橋～山区交差点間で拡幅改良事業を実施することとなり、これに伴い山区交差点の改良計画の見直しを行った。また、大塚橋架替え計画において、河川条件及び隣接土地との調整による計画の見直しを行った。 (平成23年度変更内容) 総事業費 当初 33.5億円 → 変更 42.5億円 用地取得の遅れに不測の日数を要し、事業期間の見直しを行った。 (平成26年度変更内容) 完成年度 当初 平成27年度 → 変更 平成29年度</p>	<p>⑥今後の事業の進捗の見込み (計画期間について記載) 用地取得は79%まで進捗している。現在の用地取得状況および工事の進捗状況から、事業期間を7年延長し平成37年度の完成を目指す。</p>																																							
<p>②施行済みの事業内容 ((1) ③「全体計画」に記載した内容と比較)</p> <table border="1" data-bbox="203 592 987 906"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度まで</th> <th>平成29年度 (再評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事</td> <td>用地補償 道路改良工事 電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,872百万円</td> <td>180百万円</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度まで	平成29年度 (再評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事	用地補償 道路改良工事 電線共同溝工事	事業費	2,872百万円	180百万円	<p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 (総事業費について記載)</p> <p>・総事業費の見直し</p> <table border="1" data-bbox="1173 683 2078 871"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>景観形成に資するための計画変更による工事費増</td> <td>300百万円の増</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝構造設計精査に伴う工事費増</td> <td>50百万円の増</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>350百万円の増</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	事業費	景観形成に資するための計画変更による工事費増	300百万円の増	電線共同溝構造設計精査に伴う工事費増	50百万円の増	合 計	350百万円の増																						
	平成28年度まで	平成29年度 (再評価実施年度)																																						
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事	用地補償 道路改良工事 電線共同溝工事																																						
事業費	2,872百万円	180百万円																																						
内 容	事業費																																							
景観形成に資するための計画変更による工事費増	300百万円の増																																							
電線共同溝構造設計精査に伴う工事費増	50百万円の増																																							
合 計	350百万円の増																																							
<p>③進捗率 (現計画に対する実績)</p> <table border="1" data-bbox="203 970 1077 1082"> <thead> <tr> <th></th> <th>*平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>2.4</td> <td>7.1</td> <td>18.8</td> <td>30.6</td> <td>42.4</td> <td>54.1</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>1.7</td> <td>5.5</td> <td>19.2</td> <td>31.0</td> <td>44.7</td> <td>51.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="203 1098 1111 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>*平成29年度</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>65.9</td> <td>77.6</td> <td>89.4</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>58.6</td> <td>60.5</td> <td>67.6</td> <td>71.8</td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table>		*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計 画	2.4	7.1	18.8	30.6	42.4	54.1	実 績	1.7	5.5	19.2	31.0	44.7	51.1		平成26年度	平成27年度	平成28年度	*平成29年度	算出方法	計 画	65.9	77.6	89.4	100.0	計画事業費/総事業費×100	実 績	58.6	60.5	67.6	71.8	実施事業費/総事業費×100	<p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 歩道舗装や照明等の構造物について、景観形成に寄与する色彩や形状となるよう検討し設計に反映した。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p>
	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																		
計 画	2.4	7.1	18.8	30.6	42.4	54.1																																		
実 績	1.7	5.5	19.2	31.0	44.7	51.1																																		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	*平成29年度	算出方法																																			
計 画	65.9	77.6	89.4	100.0	計画事業費/総事業費×100																																			
実 績	58.6	60.5	67.6	71.8	実施事業費/総事業費×100																																			
<p>*事業着手年度又は再評価、再々評価実施年度 H29の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 沿線には住宅や観光ぶどう園が多く、用地費や補償内容の検討及び説明に不測の日数を要している。 工事施工について、観光の繁忙期を極力避けており工事進捗に遅れも生じている。</p>	<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他 () (理由) 用地取得の進捗率が79%に達しており、また現道拡幅事業のため部分供用が可能で徐々に事業効果が発揮できることから、事業期間や事業費の見直しを行い、平成37年度の完成を目指す。</p>																																							

3. 添付資料シート（1）



①通行車両と歩行者の状況



②大型車のすれ違い状況



③H29年度供用予定箇所



④大塚橋整備状況



年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要			進捗率	
H20	73,717	道路詳細設計	橋梁予備設計	路線測量	用地測量	1.6%
H21	161,960	橋梁詳細設計	用地補償費			5.1%
H22	578,759	電線共同溝詳細設計	道路改良	橋梁工事	用地補償費	17.7%
H23	504,463	道路改良	橋梁工事	用地補償費		28.7%
H24	582,896	道路改良	橋梁工事	電線共同溝工事	用地補償費	41.3%
H25	270,000	道路改良	橋梁工事	用地補償費		47.2%
H26	316,934	道路改良	橋梁工事	用地補償費		54.1%
H27	80,791	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		55.9%
H28	302,344	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		62.4%
H29	180,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		66.3%
H30	180,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		70.3%
H31	180,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		74.2%
H32	180,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		78.1%
H33	230,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		83.1%
H34	230,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		88.1%
H35	260,000	道路改良	電線共同溝工事	用地補償費		93.7%
H36	200,000	道路改良	電線共同溝工事			98.1%
H37	88,136	道路改良	電線共同溝工事			100.0%
合計	4,600,000					